

シラバス情報

授業方法	講義 ・ 実験 ・ 実習		
系 列	その他		
科 目 名	機器の構造・取扱い		
必修・選択	必修科目 ・ 選択科目		
対象学科	一級自動車整備科・二級自動車整備科		
年次学期・曜日・時限	1年前期	月曜日	3・4時限あるいは5・6時限
時 限 数	24時限（中間及び期末試験を除く）		
担当教員名	竹森 翔		
実務経験	有 ・ 無		
	国土交通省に認証された事業場における保守・点検・分解・組立など自動車整備士としての経験を活かし、整備を行う上で必要となる整備機器の種類及び取り扱いについての講義を実施する。		
授業の目的	基礎自動車整備作業の習得 自動車整備に使用する工具、測定機器等の種類、取り扱い方法、注意点の把握		
テキスト	①基礎自動車整備作業（日本自動車整備振興会連合会 発行）		
授 業 計 画			
授業回数	テーマ	内容・方法等	使用テキスト 範囲
第1回	整備の基礎知識 基礎整備作業	整備作業の目標～基礎整備作業までを解説し、 重要な箇所をノートに記述させる。	①P.7～11
第2回	基礎作業1	・ スパナ～ドライバ 用途、種類、構造、機能、取り扱い	①P.14～21
第3回	基礎作業2	・ ハンマ～バイス 用途、種類、構造、機能、取り扱い	①P.21～27
第4回	基礎作業3	・ やすり～ダイス 用途、種類、構造、機能、取り扱い	①P.28～38
第5回	測定作業1	・ スケール～マイクロメータ 用途、種類、構造、機能、取り扱い	①P.40～45
第6回	測定作業2	・ ダイヤルゲージ～トースカン 用途、種類、構造、機能、取り扱い	①P.46～48
	中間試験	第6回までの授業内容に関する筆記試験	
第7回	測定作業3	・ シックネスゲージ～ストレートエッジ 用途、種類、構造、機能、取り扱い	①P.49～52
第8回	エンジン点検作業1	・ コンプレッションゲージ～サーキットテスタ 用途、種類、構造、機能、取り扱い	①P.54～59
第9回	エンジン点検作業2	・ バッテリクランプテスタ～スキャンツール 用途、種類、構造、機能、取り扱い	①P.60～65

第 10 回	シヤシ点検作業	・ トーインゲージ～デプスゲージ 用途、種類、構造、機能、取り扱い	①P68～70
第 11 回	充電作業～VII給油作業	・ 充電器～ルブリケータ 用途、種類、構造、機能、取り扱い	①P72～76
第 12 回	昇降作業、その他の作業	・ ガレージジャッキ～キャリパゲージ 用途、種類、構造、機能、取り扱い	①P78～86
	期末試験	第1回～第12回までの授業内容に関する筆記 試験	
到達目標	整備を行う上で基本となる、正しい工具・設備の取り扱い方及び安全な作業方法を身に付けるとともに、それらを実作業に役立てる。		
成績評価方法	平常点（小テスト、レポートやノートの提出とその評価、出席及び授業態度）、中間試験並びに期末試験を合算して行う。		
定期試験受験資格	開講された全時限に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した時限がある場合は、補講も完了している者。		
成績評価基準	<p>成績評価は、期末試験の点数が40点以上を満足した上で、100点を満点とする整数について、次の割合で行う。</p> <p>中間試験の点数 30% 期末試験の点数 40% 平常点 30%</p> <p>上記の割合によって学期末の評点が60点以上である場合、以下によって評価する。</p> <p>60～69点＝可、70～79点＝良、80～89点＝優、90点以上＝秀</p> <p>60点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで60点以上のとき履修を認定し、成績は60点＝可とする。</p>		
成績評価できない場合の基準	全講義を終了時点の出席率が50%を満たしていない場合、又は、成績評価が60点未満の場合。		